



さしっ子便り

唐津市立佐志小学校
学校だより 第25号
令和8年3月2日(月)
文責：校長 平山美代子

学校教育目標 「わたしらしく あなたらしく 輝くさしっ子」～気づき・考え・実行する子どもの育成～

鶯の ^{うぐいす}あかるき ^{こえ}声や ^{たけ}竹の ^{おく}奥 ^{わだきいん}和田希因

竹林の奥のほうから、うぐいすの明るく鳴く声がきこえてきますという意味。
3月3日は桃の節句、5日は「啓蟄」(けいちつ)土の中にいた虫たちが春の訪れを感じて、動き始める時期。春の足音がきこえてくる季節です。

2/26 「6年生ありがとう集会」～感謝の気持ちをこめて～

1～5年生は6年生のために、6年生は1～5年生のために、温かい思いのやりとりをしました。
子どもたちが一生懸命に頑張る姿に感動し、胸が熱くなりました。

4年生 合奏「茶色の小びん」、美しい楽器の音色にみんなが引き込まれました



3年生 6年生にかかわる先生の「〇×クイズ」、会場いっぱいもりあがりました。



1年生 「6年生への感謝の呼びかけ」・ダンス「幸あれ」～元気はつらつで愛らしく、成長を感じました。



2年生 「6年生への応援エール」・歌「青い空に絵をかこう」・歌詞がこの場によく合っていてジーンとききました。



5年生 2020～2026 6年間をふりかえって～一年ごとに様々な出来事があったことを振り返ることができる楽しい寸劇でした。



6年生 「桃太郎佐志小バージョン」～学校生活を昔話、桃太郎のアレンジで、笑いの渦に巻き込みました。



ありがとう集会の最後は、6年生から新しい佐志小のリーダーである5年生に、校旗の引継ぎをしました。みんなが頼りにしていた6年生、優しくたくましい6年生、リーダーにふさわしい子ども達でした。気持ちを引き継いでいきたいと思います。3月第1週は、昼休みに6年生と各学年の最後のレクで交流します。一緒に過ごすのは残りわずかですが、楽しい思い出をたくさん作ってほしいです。



6年生代表から5年生代表への校旗の引き継ぎの様子



黒崎山で発見された狛犬さん



2/15 救出作業の様子



2/15 清掃作業後の狛犬さん

〈3月の全校朝会〉

「黒崎神社の狛犬さん、おかえりなさい」

およそ250年前、神社の移転があった際、行方が分からなくなっていた2体の狛犬がいました。2024年、黒崎神社の山の奥で、佐志八幡宮の宮崎宮司さんが偶然、朽ちかけた一体を発見されました。その後、2025年に傷だらけになったもう一体が発見されました。

この話を聞いた佐志小出身で福岡在住の濱本荒毅さんが中心となり、できる限り修復をし、何とか元の黒崎神社に鎮座させてあげたい、地域の守り神として未来に残したいと「狛犬救出プロジェクト」と銘打ったクラウドファンディングを立ち上げられました。この熱い気持ちに全国から多くの賛同が集まり、目標の資金を調達するに至ったのです。そして、2月15日、井手清和さんが、地域の消防団等に呼びかけ、有志を集め、黒崎山から傷ついた狛犬を救い出すという壮大な作業が行われました。

私は、井手さんからのお話や新聞やニュースの報道を通して知り、大変感銘を受けました。なんとすばらしいことだろう、まさしく神がかりなことだと。佐志の歴史に残るこの偉大な出来事を子ども達にも知っておいてほしいと思いました。2月27日の全校朝会では、濱本荒毅さん、井手清和さんが来校され、思いを語っていただきました。私の拙い話では、十分にこのすごさが伝わらないのが残念です。Instagramには、救出作業の様子が詳しく上がっていますので、ご覧になられてみてください。

除幕式となる「狛犬台座完成式」は、3月8日(日)11時より黒崎神社境内で行われます。「ごまいぬさん、おかえりなさい」と子どもたちに声をかけに来てほしいとお願いがありました。よかったら足を運ばれ、歴史的な瞬間を見守ってください。

みんなの表彰

◆令和7年度第44回全国児童画コンクール

〈優秀賞〉

5年… さん

〈入選〉

3年…

4年…

5年…

6年…